

過去を知り未来へ繋ぐ

2021~2022年度 会長 國谷 大輔

- 例会場 / ホテル函館ロイヤル TEL (0138) 26-8181 (代)
- 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所 / ニチロビル4F
TEL (0138) 23-3870 FAX (0138) 22-2251
- 会長 / 國谷大輔
- 副会長 / 黒島一生
- 会長エレクト / 安田雄二
- 幹事 / 吉村昭夫
- 副幹事 / 平井喜一
- 友好クラブ / 長崎東ロータリークラブ



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために
シェカール・メータ
国際ロータリー-2021-22年度会長

第3062回 10月12日(火)

本日の
プログラム

「國谷・吉村丸 出航例会」

次週の
プログラム
10月19日(火)

「未定」

函館商工会議所 永澤 理氏

第2510地区 第11グループ
函館東ロータリークラブ
2021~2022

会報

第3061回例会 2021年10月5日(火) 天候 雨

月間テーマ 地域社会の経済発展月間/米山月間

■ロータリーソング 奉仕の理想

■司会 國谷 大輔 会長

■今月の誕生日

9/1 佐藤真一会員、10/15 宮崎徳三郎会員

10/17 平井会員、10/23 吉川会員

■今月の結婚日

9/6 吉川会員、9/9 佐藤雄喜会員

10/17 原会員、10/21 安田会員

10/28 小野会員

■会長報告

1、ロータリー財団よりマルチプル・ポール・ハリスフェローのピン並びにポール・ハリスフェローの感謝状が届きましたのでお渡しいたします。

森元会員(ピン6)、時田茂会員・池垣会員(ピン2)、佐藤真一会員・五十嵐正会員・佐藤美子会員(ピン1)

ポール・ハリスフェロー 長谷川会員・野呂会員

■委員会報告

1、国際奉仕委員会：タイのワフカットへ寄付する為、10/5から愛知県刈谷市のデンソーに4名で行ってきます。

■幹事報告

1、第2四半期会費納入のご案内を致しましたので、今月中にお払い込みくださいますようお願い致します。

2、10月のロータリーレートは1ドル112円です。

3、10月9日(土)地区大会記念講演会が開催されます。お申し込みのありました会員に入場券をお渡ししております。また、10日の懇親会は中止になりました。

4、例会終了後、理事会を開催いたします。

「米山月間にちなんで」

ロータリー財団・米山記念奨学委員会
委員長

時田 茂 会員



日本のロータリーは外国人留学生を
支援しています

2021-22

ロータリー米山記念奨学事業
豆辞典

事業のあゆみ

- 1952 ● 東京RCが奨学事業の構想を立案
- 1953 ● 「米山基金」の募金開始
- 1954 ● 奨学生第1号のソムチャード氏がタイより来日
- 1957 ● 新組織「ロータリー米山奨学委員会(委員長・小林雅一氏)」を結成
- 1958 ● 新組織初の奨学生8人を採用
- 1959 ● 世話クラブ制度設置
- 1960 ● 「ロータリー米山記念奨学会」と改称
- 1967 ● 「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立
- 1971 ● カウンセラー制度設置
- 1972 ● 米山功勞者制度の設定
- 1978 ● 特別寄付金への免税措置の認可を得る
- 1983 ● 台湾米山学友会(扶輪米山会)正式発足
- 1985 ● 国内初の米山学友会(関東)が発足
- 1989 ● 4月採用から元ロータリー所在国からの留学生へ門戸を開く
● 韓国米山学友会正式発足
- 1999 ● 4月採用から全ての国・地域を対象となる
- 2001 ● 日本政府から留学生交流功勞団体として表彰される
- 2002 ● 4月採用から指定校・大学推薦制度を全国で施行
- 2004 ● R財団から米山記念奨学事業が賞賛を受ける
- 2005 ● 4月採用から採用数・奨学金額を縮減
- 2006 ● 制度改編・新制度発足「現地採用奨学金」「地区奨励奨学金」
- 2007 ● 日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動としての手続が完了
- 2008 ● ホームカミング制度がスタート
- 2009 ● 中国米山学友会設立
- 2010 ● 中国・韓国の学部生に応募資格が与えられる
- 2012 ● 「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」となる
● タイ米山学友会設立
- 2013 ● よねやま親善大使制度スタート
● ネパール米山学友会設立
- 2014 ● モンゴル米山学友会設立
● スリランカ米山学友会設立
● マレーシア米山学友会設立
- 2017 ● ミャンマー米山学友会設立
● 財団設立50周年
- 2018 ● 財団設立50周年記念式典



米山善吉氏(1868-1946)



米山善吉の試案を作った吉沢文作氏(1881-1955)



第1号奨学生、タイのソムチャード氏(1929-90)



全国組織となって初めて採用された奨学生たち



米山奨学生学友会(関東)創立総会



ソウル国際大会米山分科会

背景

- 1945 ● 第二次世界大戦終戦
- 1946 ● 米山善吉氏逝去
- 1947 ● ボール・ハリス氏逝去
- 1949 ● 日本のロータリーが国際ロータリーに復帰
- 1951 ● サンフランシスコ講和条約調印
- 1954 ● 国務省外国人留学生制度開始
- 1956 ● 経済白書「もはや戦後ではない」
- 1960 ● 新・日米安全保障条約調印
- 1961 ● 東京で国際大会開催
- 1964 ● 東京オリンピック
- 1970 ● 大阪万国博覧会
- 1972 ● 日中国交正常化
- 1975 ● 米山週間に4月に決定
- 1978 ● 東京で国際大会開催
- 1980 ● 米山週間に4月から10月に変更
- 1983 ● 米山週間に米山月間(10月)になる
● 「留学生受け入れ10万人計画」発表
- 1985 ● つくば博覧会
- 1989 ● ソウルで国際大会開催
- 1991 ● パル経済危機
- 1995 ● 阪神・淡路大震災
- 2001 ● アメリカ同時多発テロ事件発生
- 2003 ● 在日留学生10万人突破
- 2004 ● 大阪で国際大会開催
- 2005 ● ロータリー100周年
● 愛・地球博(愛知万博)
- 2008 ● 「留学生30万人計画」発表
● 米山危機
- 2010 ● 第2750地区に東京米山友愛RC創立
- 2011 ● 東日本大震災
- 2012 ● 第2750地区に東京米山ロータリークラブ2750創立
● パンコクで国際大会開催
- 2013 ● ロータリー世界平和フォーラム広島開催
● 第2770地区にさいたま大空RC創立
- 2016 ● 熊本大地震
● ソウルで国際大会開催
- 2020 ● 新型コロナウイルス感染症の流行
● 日本のロータリー100周年

ロータリー米山記念奨学事業とは？

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会(以下、米山奨学会)は、日本のロータリーが協同で運営する民間奨学団体です。米山奨学会では日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。



将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解」そのものです。

なぜ、外国人留学生を支援するのか？

この事業は1952年、東京ロータリークラブ(RC)が発表した「米山基金」が始まります。日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたい。東京RCが設立したのは、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業でした。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、「平和日本」を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。

ロータリー米山記念奨学金の特長

交流を大切にしています。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリークラブについて学びます。また、奨学期間終了後も「ロータリー学友」として、国際ロータリーの国際的コミュニティに参加することができます。

1 世話クラブ・カウンセラー制度
奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となります。奨学期間中、奨学生は世話クラブで奨学金を受け取り、交流します。さらに、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって、日常の相談役をつとめます。

2 民間最大の国際奨学事業
2021年度度の奨学生数は910人、事業費は14億5千万円(2020-21年度決算)と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は22,267人(2021年7月現在)、その出身国は世界129の国と地域に及びます。



- ✓ 米山記念奨学事業は、国際ロータリーから認められた日本のロータリー全地区による多地区合同活動です
- ✓ 外国人留学生の支援を通じ、日本と母国との平和の懸け橋になる人材を育て、国際親善に寄与しています

年間カレンダー：奨学生が決まるまで

6月 奨学会で地区割当数を決める

- ① 寄付金収入予測に基づき全体採用数を決定(2022年度:880人枠)
- ② A~D各要素の対全国比と、配当金を算分し加えた地区割当数とします(p9参照)
 - ・2022年度度の地区割当数算出に使用するのは2019-20年度寄付実績です

880人	
A	B
寄付金総額	個人平均寄付額
50%(401人)	30%(241人)
10%	10%
10%	10%

7月 地区で指定校と被推薦者数を決める

- ・地区米山奨学委員会が指定校を毎年選定します
- ・同委員会では、学校説明会を聞くなど要望を伝え、奨学生にふさわしい留学生を推薦してもらうよう努めています

8月 募集スタート

奨学会から指定校へ通知するほか、ホームページで指定校・募集要項を発表します

8~10月 指定校での学内選考と申込み

奨学会で申込みを受け付け書類をチェック
応募締切:10月15日

11~1月 書類選考・面接試験

地区ごとに面接官オリエンテーションを実施し、全国共通の基準に仕上げて面接選考します

12~2月 合否発表

地区の報告順に学校専用画面で「合格内定」「不合格」を発表。当理事会承認後、3月下旬に合格通知を学校経由で送付します

4月 オリエンテーション

世話クラブ・カウンセラーとの初顔合わせ。予約書にサインし正式に米山奨学生となります

活躍する米山学友

日本初のアフリカ人学長

ウスビ・リコさん
(マリ出身 1992-94/京都市北RC)

高校卒業と同時に国の奨学金を得て中国に留学。中国・北京語言大学、南京市の東南大学等に6年間滞在して建築学を学ぶ。2001年に京都精華大学着任。2018年4月より同大学長に就任し、日本の大学で初のアフリカ出身学長となる。著書に「これからの世界」を生きた君に伝えたいこと(2020、大和書房)。専攻は空間人類学。

新進気鋭のアーティスト

張媛媛(チョウエンエン)さん
(中国出身 2018-19/東京江北RC)

アートの世界で生きることを志して来日。日本で2つの大学院を修了する探究心の持ち主。2019年、若手アーティストの登竜門とされる上野の森美術館大規模で大賞受賞。東京芸術大学修了展覧会メトロ文化財団賞受賞。活かした展覧会を画廊布に染み込ませる技法(エンカウステイク)で独特な作品を生み出している。

これまでに巣立った約2万人の元米山奨学生は、世界各地で活躍しています

原子力分野における日台交流の重鎮

謝牧謙(シャ・ホクケン)さん
(台湾出身 1965-67/仙台RC)

台湾核エネルギー研究所に勤務。日台間の「中日工程技術研究会」や「原子力安全セミナー」で長年中心的役割を果たし、原子力分野における日台交流の礎を築いた。福島原子力事故後の正確な情報発信や理解の促進にも尽力。令和二年「旭日中校賞」受賞。輔仁大学兼任教授、台湾大学・文化日本研究センター諮問委員。

中性子ビームによる構造解析の匠

ステファヌス・ハルコさん
(インドネシア出身 1995-97/日立南RC)

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 J-PARC センター 研究主幹。設計・建設した中性子実験装置「匠 TAKUMI」の装置責任者。中性子を用いた日本刀などの文化財、車や建造物の内部状態の調査、先端鉄鋼や金属材料の変形機構調査などで成果を挙げている。2019年、日本鉄鋼協会澤村論文賞受賞。

ニコニコボックス

國谷会長、吉村幹事 時田委員長、卓話よろしくお願ひします。
佐藤雄喜会員、外崎会員、三輪会員、安保会員、宮崎あけみ会員、池田会員、松山会員、時田会員、森元会員、野呂会員、松井会員 お久しぶりです。
吉川会員 誕生月です。
五十嵐総会員 久しぶりです。会長・幹事、例会大変ですが、よろしくお願ひします。
安田会員 月はじめです。親睦の皆様いつもご苦勞様です。
佐藤美子会員、吉田恵美子会員、吉田昇会員、新保会員、佐藤真一会員、宮崎徳三郎会員、高野会員、小野会員 月はじめです。
原会員 結婚月です。51回目になりました。
平井会員 国際奉仕委員会、明日行ってまいります。
黒島会員 明日から国際奉仕の事業で名古屋に行ってきます。

■広告料

- (有)さとう印刷 佐藤美子会員
- (有)野呂葬儀社 野呂信詞会員
- (有)不動産企画ウィル 佐藤真一会員
- 森元浩会員

■出席報告

・10月5日(火) 会員37名中 出席27名(欠席10名)

市内他クラブ プログラム

10月13日(水)	函館北RC	卓	話
10月14日(木)	函館RC	卓	話
10月15日(金)	函館五稜郭RC	卓	話
10月18日(月)	函館亀田RC	卓	話

◆テレフォンサービス 26-3170◆

※函館RC・函館五稜郭RC・函館セントラルRCの通常例会は
コロナウイルス感染対策としてビジターの受付は行っておりません。

(有)雄喜フラワーデザインスタジオ

佐藤 雄喜 会員
松風町12-13 電話 23-7541

サロンドエピ (有)しんぼ建築設計室

新保 栄子 会員
花園町8-8 電話 56-4624